安全マネジメント推進要綱

2026年度

両備ホールディングス株式会社

■はじめに

2026年度においても、「日本一安全な運輸企業」を目標に掲げ、継続的な取り組みを進めます。運輸安全マネジメントに基づき、管理職・乗務担当社社員・労使が一体となり、安全意識の向上を軸とした指導・教育を徹底します。これにより、安全で快適な輸送サービスを社会とお客様へ提供してまいります。

SSPブラッシュアップ推進委員会における組織的な取り組みとして、1名のリーダーが5名のメンバーを指導する「チーム5制度」を導入し、全体のスキル向上を目指します。現場での実践的な指導を重視し、無事故を継続している模範ドライバーであるリーダーが、自身の経験に基づく事故回避のポイントを共有することで、「自ら考えて運行できるセールスドライバー」の育成を図ります。

事故を未然に防止するため、安全設備を搭載した新型車両の導入や点呼・健康管理システムの活用など、ハード面の充実を図ります。あわせて、運転適性診断や健康診断、ドライブレコーダーおよびデジタルタコグラフの運行データを活用し、要注意者を抽出のうえ、添乗指導や各種研修を実施します。これらの取り組みは自社内にとどまらず、グループバス会社との合同実施とすることで、多角的な視点から運転者の「悪い癖」の是正を図ります。
特に、小さな事故や重大インシデントの発生が重大事故につながることを踏まえ、軽微な事象の段階から指導を強化します。また、日常業務におけるヒヤリハット情報の収集を促進し、社内で共有するとともに、危険予知トレーニング（KYT）に活用することで、道路交通に潜む危険を事前に予測し、適切に対応できる能力の向上を図ります。
さらに、「優しさ」が安全・安心につながることを基本理念とし、「5SAF」および「優しい運転・優しい言葉・優しい接客」を実践することで、お客様に対する安全・安心の確保に努めます。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕（真心からの思いやり）」の精神での運転＆接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となる様、全社員の力を結集し、安全＆快適運行に努めます。

両備バスグループ安全指針

安全が最大の顧客サービス （「人命第一」＆「安全最優先」）

厳正な点呼の実施 （「国交省メールマガジン」＆「個人重点目標」）

安全意識を高め、現場力のアップ （SSPブラッシュアップ運動）

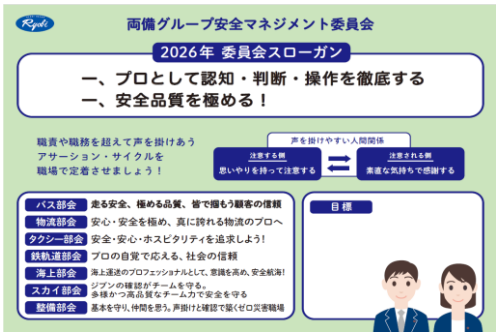
安全確保重点カレンダーに従った事故防止 （「人命第一」人身事故防止運動）

■2026年安全目標

グループ安全スローガン

一、プロとして認知・判断・操作を徹底する

一、安全品質を極める！



バス部会スローガン

走る安全、極める品質、皆で掴もう顧客の信頼

両備バスカンパニー安全目標

安全を創る

・基本手順の順守　・迅速な報連相　・ひと手間かける

事故削減心得6則

・車両の特性を知りましょう。
・運転技術を磨きましょう。
・健康状態を管理しましょう。
・道路交通法を守りましょう。
・接客サービスを徹底しましょう。
・国土交通省告示第1676号の各項目を厳守しましょう。

1.輸送の安全に関する基本的な方針

1)両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

2)活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使協調のもと、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

＊SSP-UP＝S=safety&security(安全), S=service(サービス), P=productivity(生産性)

3)安全方針

①安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行する事。

②車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行う事。

③点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高める事。

④教育を通じて安全意識を常に涵養する事。

⑤万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとる事。

2.輸送の安全に関する目標(2026年度)

2025年度 責任事故 実績 8件に対し、1件減を目標とする。

責任事故　7件以内

(責任事故･･･過失割合が重く、事故損害額が 100,000円を超える事故)

3.事故に関する統計

自動車事故報告規則第2条に規定する事故	人身	1件	0.010件/10万㌔
	疾病による運行中断	2件	0.020件/10万㌔
	車両故障	12件	0.121件/10万㌔
責任事故		8件	0.080件/10万㌔
総事故(含 被害事故)		37件	0.372件/10万㌔

(… 車内事故 1件)

2025年度目標 責任事故件数 前年(2024年度)実績 7件以下は、

2025年度実績 8件(0.080件/10万㌔) 目標未達になりました。

4.輸送の安全に関する組織体制(別紙)

①両備グループ安全マネジメント委員会

②両備バス安全マネジメント委員会

③両備グループ安全管理室

④バス・鉄軌道ユニット　安全・品質管理統括部

5.輸送の安全に関する重点施策

①運転行動の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。

②蓄積した事故データと適性診断の結果に基づいた事故分析システムを活用して、事故を未然に防ぎます。

③指差確認喚呼と左折時一旦停止、右折時一旦停止又は最徐行で交差点事故を根絶します。

④点呼・健康管理システム「点呼・健康:ご安全に！」を活用し、健康起因事故の防止を図ります。

⑤頭部MRI・MRA検査と睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を実施し、健康状態を管理します。

⑥日常点検・中間点検を確実に実施し、車両の不具合による事故の根絶を図ります。

⑦「点呼・健康:ご安全に！」と車両管理システムの連携により無車検運行を防ぎます。

⑧管達、他山の石、ヒヤリハット情報＆国交省メルマガの活用で、危険予測、予見運転意識を高めます。

⑨事故・苦情の撲滅を目指したSSPブラッシュアップ運動の展開で、現場力を高めます。

⑩教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、飲酒＆薬物＆携帯電話・スマホにかかる指導を継続的に行います。

⑪大型自動車教習コースを使用した実技教育により、車両特性を身に付けます。

⑫情報の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。

⑬事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。

⑭ヒヤリハット報告のドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニングで事故の芽を摘みます。

⑮職場内対話の充実により、風通しの良い職場を構築し、不安全行動を防ぎます。

⑯全乗務担当社員のドライブレコーダーを定期的に確認し、結果に基づいた指導を実施します。

⑰AIによる「ドライブレコーダー分析システム」を活用し、個人用携帯電話・スマホルール違反を防ぎます。

6.事故・災害時の連絡報告体制(別紙)

7.輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

輸送の安全目標達成のため、昨年の事業の検証を行い、現状の問題点を抽出した
上で、安全マネジメントの実効をあげる輸送の安全に関する計画を見直しします。

8.輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9.輸送の安全に関する研修・設備投資等の実施計画(別紙)

10.輸送の安全に関する内部監査

①安全統括管理者による内部監査(年1回)

②ｸﾞﾙｰﾌﾟ安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会監査役・SSPﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟ推進部による業務監査(随時)

③カンパニー長(副カンパニー長)による抜き打ち訪問(随時)

④内部監査委員による定例監査(整備・人事・財務)

⑤労使メンバー安全点検職場巡回(年12回)

⑥バス部会各社による相互監査(随時)

11.安全に関する資料、記録の保存

①輸送の安全に関する基本的な方針

②輸送の安全に関する重点施策

③事故・災害時の連絡報告体制

④輸送の安全(施策の見直し)に関する会議の議事録

⑤事故・災害等報告記録

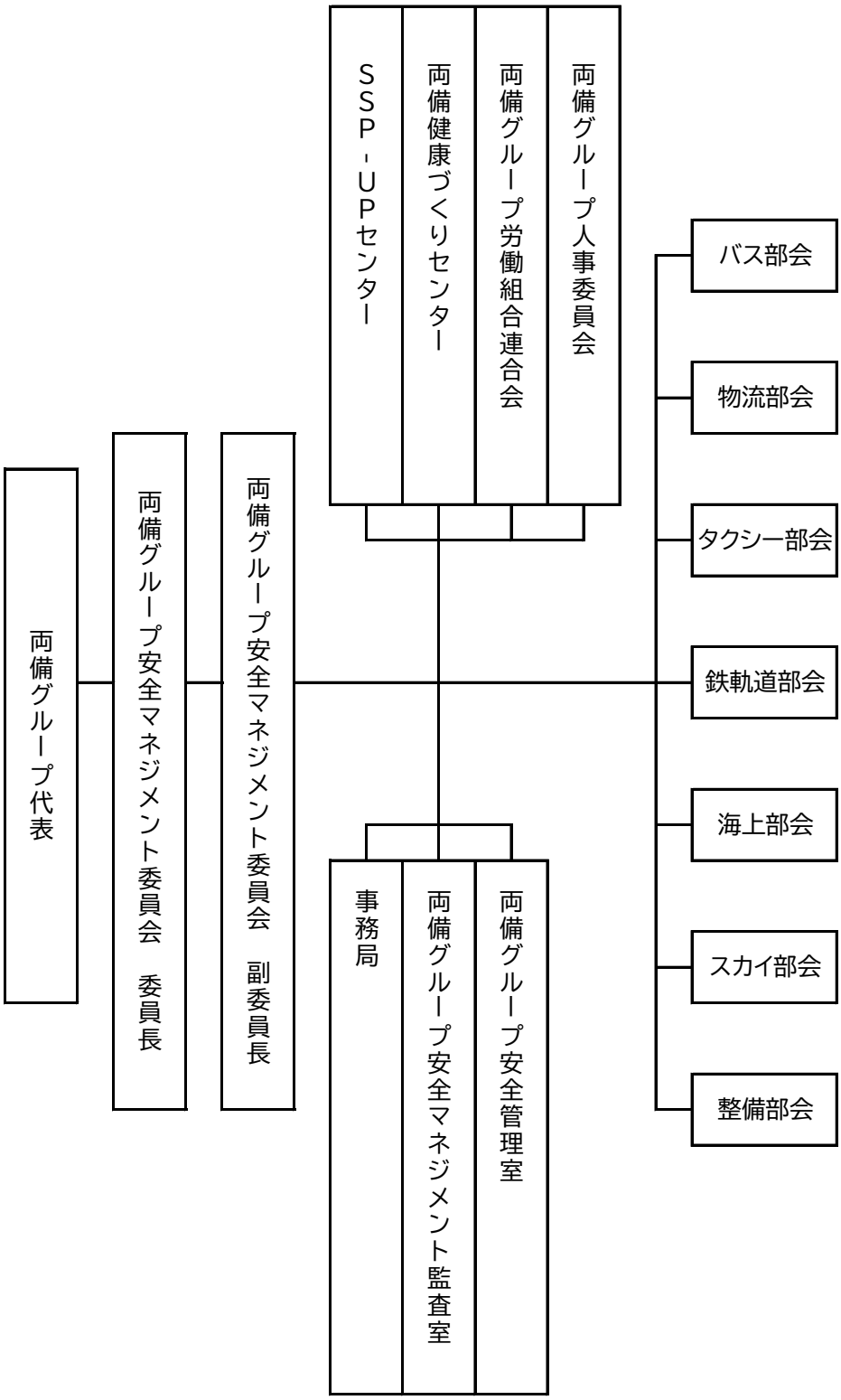
⑥運輸局通達等発信情報記録

⑦輸送の安全に関する内部監査結果

12.経営トップによる見直し・改善指示

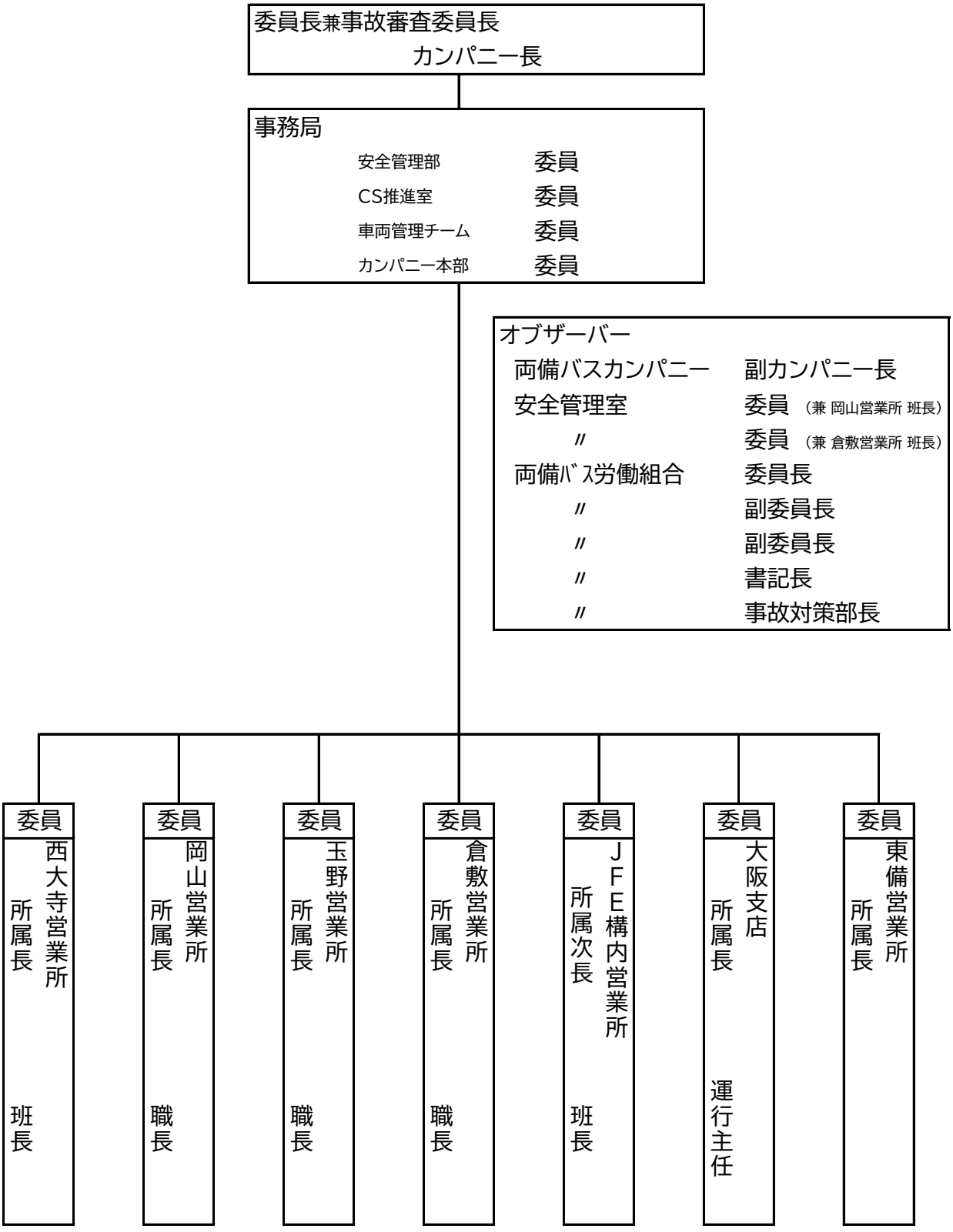
両備グループ安全マネジメント委員会を毎月開催し、経営トップの判断が必要な場合は、遅滞なく改善指示をします。

■両備グループ安全マネジメント委員会組織図

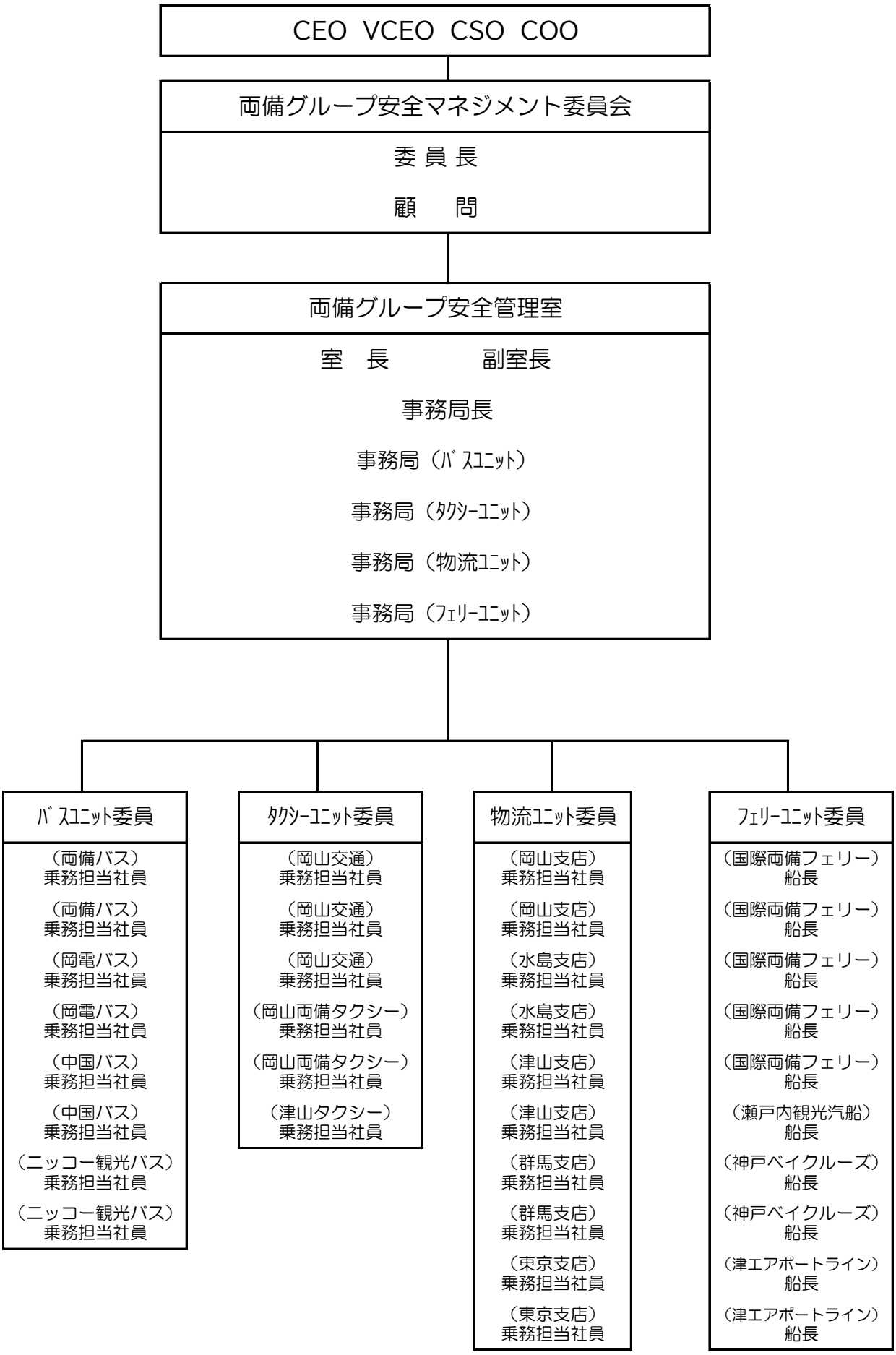


■両備バス安全マネジメント委員会組織図

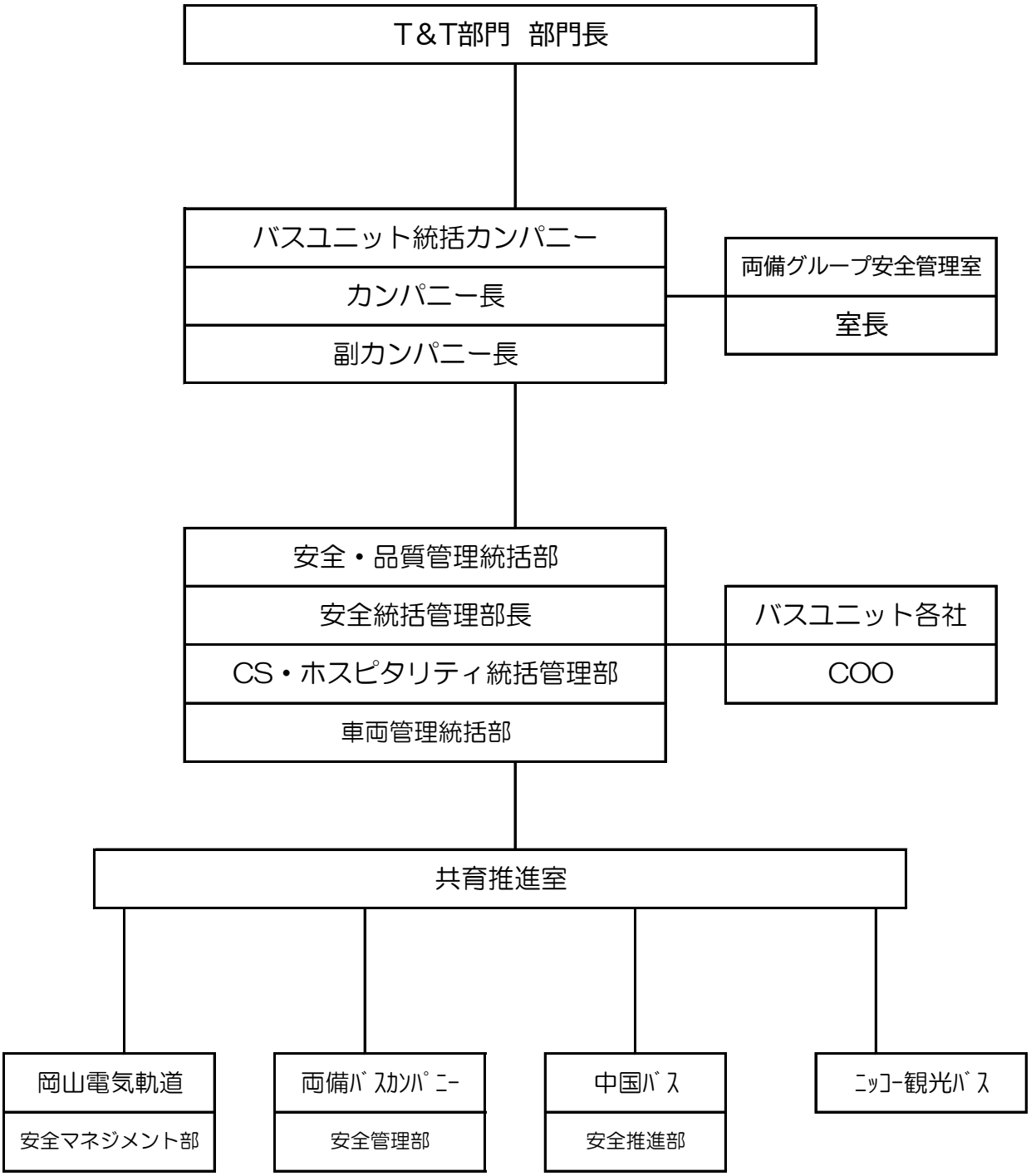
両備バスカンパニー



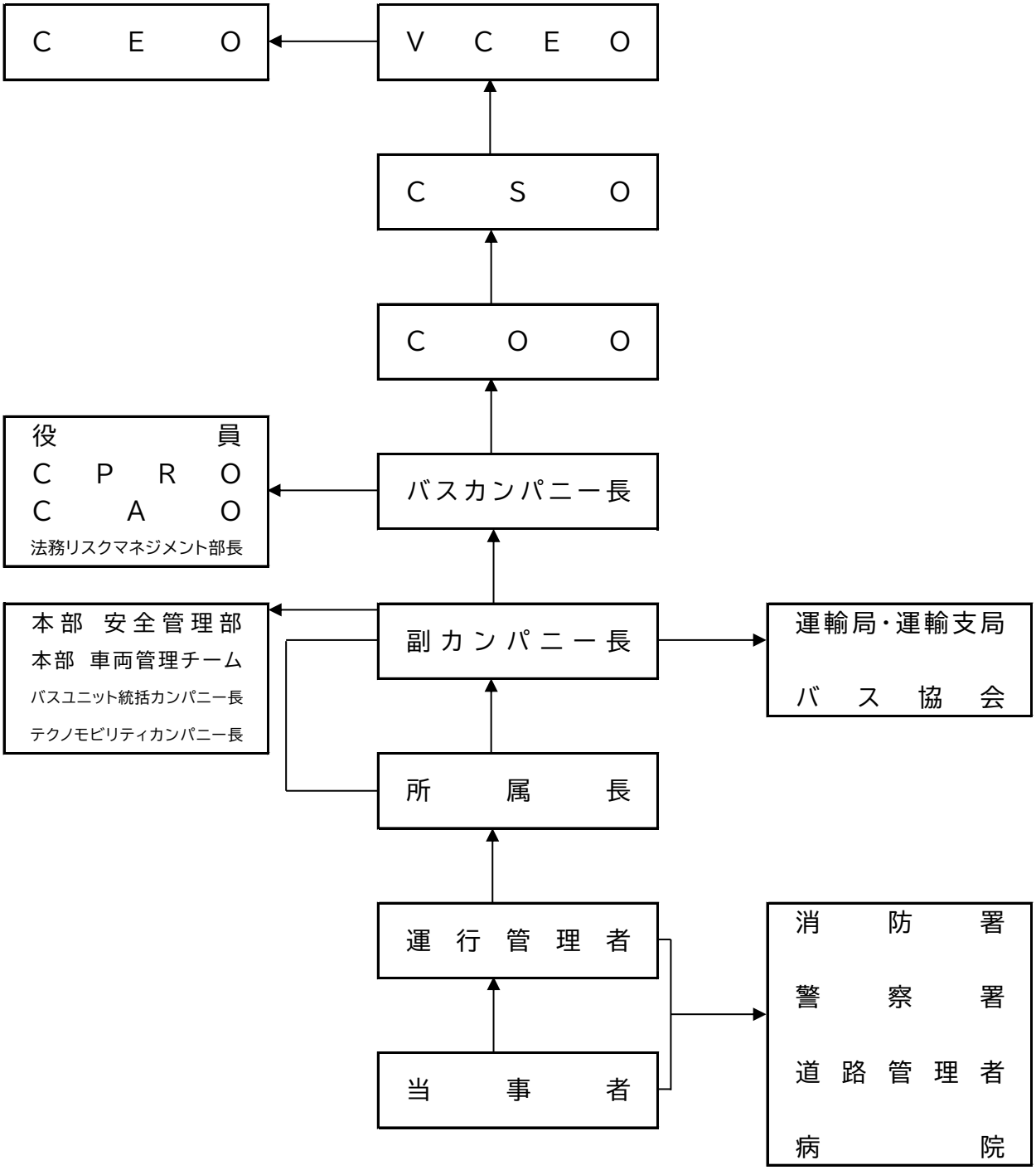
■両備グループ安全管理室組織図



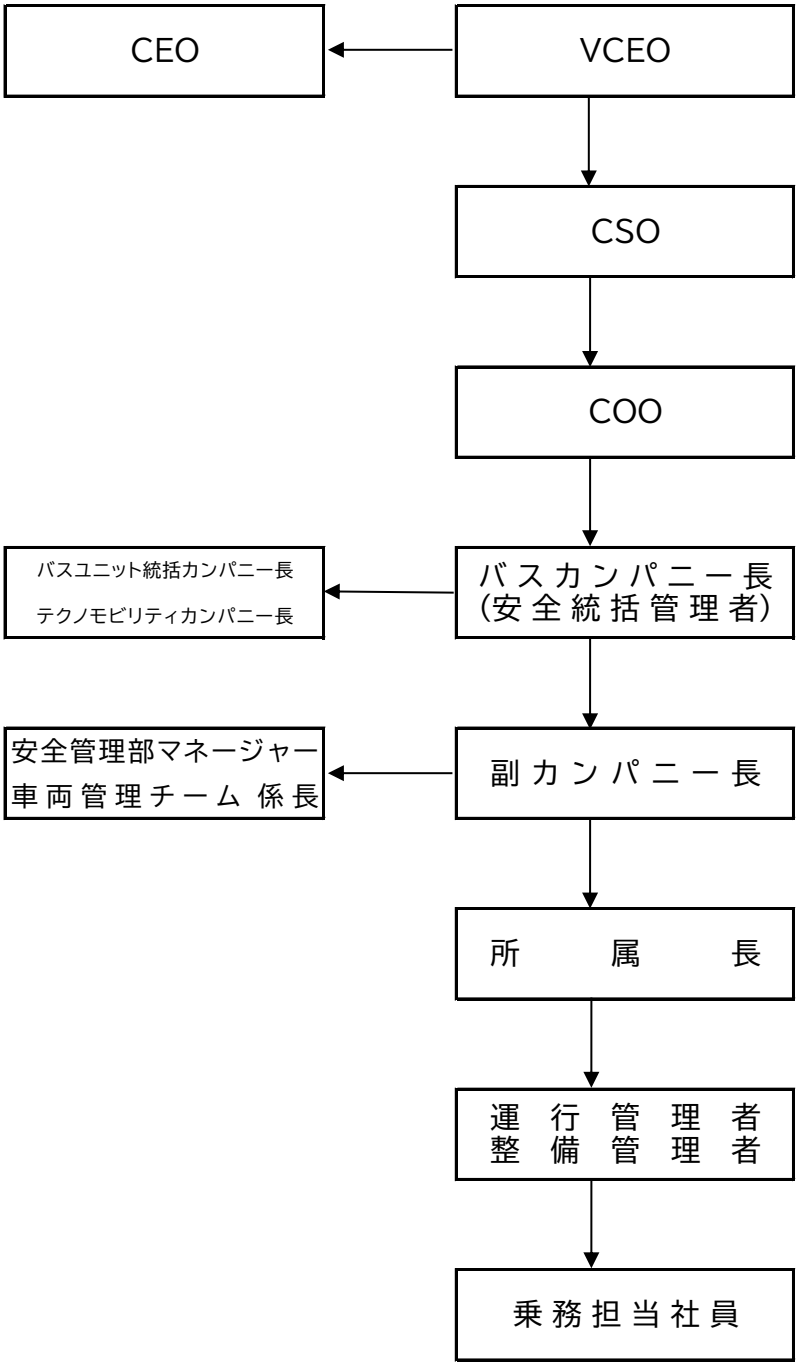
■バス・鉄軌道ユニット　安全・品質管理統括部組織図



■事故・災害時の連絡報告体制図



■輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統図



■輸送の安全に関する会議等の実施計画（2026年度）

両備バスカンパニー

項　　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
両備グループ安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備グループ安全マネジメント委員会バス部会	○		○		○		○		○		○	
両備バス安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無事故・無違反啓発の日（毎月6日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSP-UP安全総点検日（毎月10日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交通事故0の日（毎月19日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交差点注意日（毎月20日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマホを風化させない日（31日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全統括管理者内部監査										○	○	
両備グループ安全マネジメント委員会相互監査		○	○	○	○							
SSP-UP技能コンテスト						○						
両備グループ交通安全月間				○								
両備グループ交通安全日（7月31日）				○								
歩行者確認の日（6月27日） ➡交差点右折注意の日			○									
車検切れの日（5月22日、12月30日）		○							○			
スマホ事件を風化させない日（10月31日）							○					
スマホ依存度調査						○						
運転記録証明書取得											○	
春秋交通安全運動、年末年始安全総点検	○					○			○	○		
新学期の思いやり実践期間（4月1日～5日）	○											
飲酒調査個人面談						○						○
定期健康診断（夏・冬2回）					○						○	
産業医巡回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSPブラッシュアップ委員による面談指導					○						○	
中間点検・点呼立会い・添乗指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
団体無事故表彰（営業所）			○						○			
無事故表彰（個人）									○			

■輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画（2026年）

①両備バスカンパニー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日数	担当	備考
新任乗務担当社員教育	随　時												配属先2ヵ月	安全管理部 各営業所	(実技)教習コース、各営業所 (配属後)配属先営業所
運行管理者(運行管理補助者)教育			○	○	○	○	○	○	○	○	○		0．5日	安全管理部	(座学)本部【動画視聴方式】
新任運行主任教育		○							○				1日	安全管理部	(座学)本部
新任職長・班長教育		○							○				0．5日	安全管理部	(座学)本部
一般乗務担当社員教育 (ドラレコを使ったKYT・デジタコ・スマホ等)			○	○	○	○	○		○	○			1日	安全管理部	(座学)本部
事故惹起者教育	随　時												1日～	安全管理部	(座学)本部(実技)教習コース・郊外
貸切・高速ステップアップ教育	○					○							6日	安全管理部	(座学)本部(実技)岡山営・山陽・岡山・米子・山陰道
雪上訓練										○	○		1日	安全管理部	(実技)蒜山・大山
運行管理者基礎講習			○						○				3日	NASVA	
運行管理者一般講習		○	○	○	○	○	○	○	○	○			1日	NASVA	対面方式 / 動画視聴方式
安全マネジメント講習会				○	○		○						0．5日	NASVA	リスク管理・ガイドライン・内部監査
適性診断活用研修(指導者)						○							0．5日	NASVA	
適性(適齢)診断		○	○	○	○	○	○	○	○	○				NASVA	適齢は65歳到達後1年以内　以降67歳　69歳時に実施
適性診断受診者個別指導		○	○	○	○	○	○	○	○	○				各営業所	
一般運転者教育(国交省告示1676号)	随　時													各営業所	バス運転者指導・監督要領、乗務担当者必携、国交省メルマガ等使用
運転実技教育					○							○	1泊2日	クレフィール湖東	(岡山県バス協会会員 合同)

②両備グループ　バス部門合同(両備HD・岡山電気軌道・中国バス・井笠バスカンパニー・ニッコー観光バス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日数	場所	備考
新任乗務担当社員教育(座学)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3日	SSP－UPセンター	
新任乗務担当社員教育(技能教育)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16日	教習コース 郊外 整備工場	
乗務担当社員フォローアップ教育	○			○			○			○			1日	備前自動車 大型教習コース	
ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 (55歳時対象)			○			○			○			○	1日	備前自動車 大型教習コース	
SAFETY教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1日	備前自動車 大型教習コース	
乗務担当社員接客サービス教育			○						○				1日	岡電バス 両備バス	
SSP-UP技能コンテスト						○							1日	備前自動車 岡山教習所 教習コース	※ 2025年度開催は、2025年9月に実施 2026年度開催は、2026年9月に実施計画

■輸送の安全に関する教育・研修等の実施状況（2025年）

貸切・高速ﾊﾞｽ ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ（貸切ﾊﾞｽ 初任運転者）教育 【車種：大型バス】

① 実技教育（一般道）

日時： 1日目
7:00～17:00

場所： 岡山営業所 会議室

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	出庫 ↓ 一般道走行 〔幹線道路/山道/他〕	岡山営業所 ～菊ヶ峠 ～関谷学校
		関谷学校 ～道の駅一本松 ～深山公園
		深山公園 ～おもちゃ王国 ～鷲羽山ｽｶｲﾗｲﾝ
12:00		鷲羽山ｽｶｲﾗｲﾝ ～水島 ～玉島
		玉島 ～真備 ～吉備路
		吉備路 ～RSKﾊﾟﾗ園 ～岡山営業所
16:00		追加練習・他
	質疑応答	指導/添乗者
17:00		

持参物 安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）
【当日、資料配布】
初任運転者に対する指導・教育ﾃｷｽﾄ
安全運転教本
地図

② 実技教育（高速道）

日時： 2日目
7:00～17:00

場所： 岡山営業所 会議室/整備工場

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	岡山営業所 ↓ 鳥取花回廊 方面	岡山営業所 ～湯郷温泉 ～黒尾峠
		～智頭IC ～鳥取砂丘 ～米子東IC
	機器操作・中間点検 挨拶	～溝口IC ～とっとり花回廊 ～江府IC ～蒜山IC
12:00	蒜山塩釜ロッジ ↓ 吉備高原 岡山空港 ↓ 岡山営業所	～蒜山高原 ～塩釜ﾛｯｼﾞ ～米子道湯原IC
	故障時の緊急措置 実習	～岡山IC ～岡山営業所
16:30	質疑応答	指導/添乗者
17:00		

持参物 安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）
初任運転者に対する指導・教育ﾃｷｽﾄ
安全運転教本
座学時の配布資料一式
地図

◎ 実技教育 ﾒｲﾝ添乗者

両備ﾊﾞｽｶﾝﾊﾟﾆｰ / 安全管理部 所属
平成12年12月 入社
平成13年1月 乗務担当社員として選任
旧桑野営業所 乗合乗務担当社員
平成15年 5月 岡山営業所 高速乗務担当社員
平成16年 5月 岡山営業所 貸切乗務担当社員
平成21年 1月 岡山営業所 貸切乗務担当社員 副班長
平成22年 1月 岡山営業所 貸切乗務担当社員 班長
令和5年 4月 総合職に職種転換 岡山営業所 主任
令和6年 10月 安全管理部 総合職

以降、路線・高速・貸切ﾊﾞｽ の
乗務担当社員教育の実技指導を担当

- 新任乗務担当社員教育
- 乗務担当社員ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ教育〔対象者：入社 ～3年目位〕
- 貸切・高速ﾊﾞｽ ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ教育
- 雪上訓練
- SAFETY（事故惹起者）教育

日常点検

一般道（幹線道路）

高速道

一般道（農免道路・山道）

③ 実技教育（高速道）

日時： 3日目
7:00～17:00

集合： 岡山営業所

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	出庫 ↓ 高速道走行 ・ 中間点検 ～総社IC （岡山・中国・山陽道） ～岡山IC	岡山営業所 ～総社JCT ～北房JCT ～三次JCT ※ 途中 指導者 手本あり
		～尾道北IC ～御調道の駅 ～本郷IC 広島空港
12:00		～河内IC ～尾道IC ～千光寺 ～中国ﾊﾞｽ本社
		～JFE福山 ～笠岡道の駅
		～ｶﾌﾞﾄﾞﾝﾆ博物館 ～井笠ﾊﾞｽ美の浜 ～笠岡IC
		～岡山IC ～岡山営業所
	質疑応答	指導/添乗者
17:00		

持参物 安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）
初任運転者に対する指導・教育ﾃｷｽﾄ
安全運転教本
座学時の配布資料一式
地図

④ 実技教育（総合）

日時： 4日目
7:00～17:00

集合： 岡山営業所

7:00	車両点検・点呼	指導/添乗者
7:30	出庫 ↓ 高速道走行 ・ 機器操作 実習 ②車両特性 車両整備講習 （点検） ～山陽IC （山陽道・他） ～山陽IC	岡山営業所 ～山陽IC ～布施畑JCT ※ 途中 指導者 手本あり
		～白川JCT ～生田川IC ～防災記念館
12:00		～深江浜IC ～USJ ～舞洲 ※ 途中、天保山 で昼食
		～天保山料金所 ～住吉浜料金所 ～ﾊﾟｰﾙｰﾊｲｳｪｲ
		～京橋料金所 ～名谷JCT ～垂水JCT
		～山陽IC ～岡山営業所
	質疑応答	指導/添乗者
17:00		

持参物 安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）
初任運転者に対する指導・教育ﾃｷｽﾄ
安全運転教本
座学時の配布資料一式
地図

❶ 机上教育

日時： 5日目
9:00～18:00

集合： 岡山営業所

9:00	訓示	カンパニー長
9:30	高速バス営業制度	高速ﾊﾞｽ指導者
10:30		
11:30		
12:00	休憩	
13:00	接客のポイント ハラスメント	CS指導者
14:00	②車両特性 （排ガス規制） 〔構造上の特性と日常点検の方法〕 〔ASV車両の適切な運転方法〕	車両管理指導者
16:00	⑥ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正	安全管理部指導者
18:00		

持参物 安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）
初任運転者に対する指導・教育ﾃｷｽﾄ
安全運転教本
座学時の配布資料一式

❷ 机上教育（Web）

日時： 6日目
9:00～18:00

集合： 岡山営業所

9:00	①安全な運転に関する 基本的事項
	②構造上の特性と日常点検の方法
	③運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項
	④危険の予測及び回避
18:00	⑤安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法

持参物 筆記用具
安全運転のしおり（ﾊﾞｽ協会）

■輸送の安全に関する研修・設備投資（2025年度・実績）

項　　目		合　計		備　　考
教育に係る費用			5,123,050	
新任乗務担当社員教育	155,000	18	2,790,000	制服等を含む
事故惹起者教育	5,000	34	170,000	社内
SSP-UP SAFETY教育	5,000	9	45,000	自社 教育ｾﾝﾀｰ
ベテラン運転者教育	8,000	0	0	55歳到達時
接客サービス教育	5,000	2	10,000	自社 教育ｾﾝﾀｰ
一般運転者教育	2,050	233	477,650	社内
雪上訓練	4,300	6	25,800	社内
ステップアップ教育（貸切・高速）	12,800	9	115,200	社内 / 貸切・高速運転者登用時
社外教育		13	760,500	クレフィール湖東研修、安全運転中央研修所 JRバス関東安全運転研修含む
非乗務社員交通安全教育	2,000	108	216,000	社内
運行管理者（補助者）教育	2,000	99	198,000	社内
運行管理者一般講習	3,200	59	188,800	NASVA
運行管理者基礎講習	8,900	13	115,700	NASVA
安全マネジメント講習会	5,200	2	10,400	NASVA
車両など設備に係る費用			302,920,000	機器更新等
簡易型アルコールチェッカー	4,000	400	1,600,000	
車両購入（乗合・高速・貸切・特定 旅客用）		5	301,320,000	貸切バス2両、乗合バス3両
健康管理に係る費用			1,221,920	SAS・MRI検査等
ASK飲酒運転防止インストラクター	21,450	0	0	
SAS検査	5,000	91	455,000	
MRI検査	27,500	24	660,000	
薬物検査	5,940	18	106,920	
その他、安全管理に要した費用			634,680	適性診断等
適性診断（一般）	2,400	96	230,400	NASVA
適性診断（初任）	4,800	23	110,400	NASVA
適性診断（適齢）	4,800	16	76,800	NASVA
運転記録証明書	670	324	217,080	
総　　計			309,899,650	

■輸送の安全に関する研修・設備投資（2026年度・予算）

項　　目		合　計		備　　考
教育に係る費用			6,425,900	
新任乗務担当社員教育	160,000	25	4,000,000	制服等を含む
SAFETY教育（旧事故惹起者教育）	4,300	10	43,000	社内
SSP-UP SAFETY教育	5,000	12	60,000	自社 教育ｾﾝﾀｰ
ベテラン運転者教育	8,000	10	80,000	55歳到達時
接客サービス教育	5,000	10	50,000	自社 教育ｾﾝﾀｰ
一般運転者教育	2,050	260	533,000	社内
雪上訓練	4,300	10	43,000	社内
ステップアップ教育（貸切・高速）	12,800	10	128,000	社内 / 貸切・高速運転者登用時
社外教育		10	655,500	クレフィール湖東研修、安全運転中央研修所 JRバス関東安全運転研修含む
非乗務社員交通安全教育	2,000	110	220,000	社内
運行管理者（補助者）教育	2,000	100	200,000	社内
運行管理者一般講習	3,200	90	288,000	NASVA
運行管理者基礎講習	8,900	10	89,000	NASVA
安全マネジメント講習会	5,200	7	36,400	NASVA
車両など設備に係る費用			497,934,000	機器更新等
簡易型アルコールチェッカー	4,000	400	1,600,000	
車両購入（乗合・高速・貸切・特定 旅客用）	25,000,000	12	496,334,000	貸切バス3両、高速バス6両、乗合バス3両
健康管理に係る費用			2,090,250	SAS・MRI検査等
ASK飲酒運転防止インストラクター	21,450	1	21,450	
SAS検査	5,000	60	300,000	
MRI検査	27,500	60	1,650,000	
薬物検査	5,940	20	118,800	
その他、安全管理に要した費用			652,100	適性診断等
適性診断（一般）	2,400	94	225,600	NASVA
適性診断（初任）	4,800	25	120,000	NASVA
適性診断（適齢）	4,800	15	72,000	NASVA
運転記録証明書	670	350	234,500	
総　　計			507,102,250	

ご安全に！

両備グループ

2026年6月1日

両備ホールディングス株式会社　バス部門・安全統括管理者
兼執行役員・両備バスカンパニー長
金重　雄志